

●とびくす●

建築士の日 2025 イベント

— 経営者から見たまちづくり —

広報・渉外委員会

毎年、7 月 1 日は「建築士の日」です。

今年は、6 月 28 日（土）に、万代町のウォーターフロント「第二倉庫アクア・チッタ」において、「経済から見た徳島のまちづくり」をテーマに、講演とパネルディスカッションを行い、地域の経済的視点から見えるまちづくりを考えました。

建築士会はこれまで、ひょうたん島など建築士から見たまちづくりの提案を行ってきましたが、未来の徳島を考えるうえで、経済的視点を加えるとどんな未来が見えてくるのでしょうか。

テーマ 【創造と革新】建築士と経済人が描く、未来の地域デザイン

基調講演 「経営というアーキテクト」

講 師 藤田 恭嗣 氏

（株）メディアドゥ代表取締役社長 CEO

パネリスト

藤田 恭嗣 氏

真鍋 憲資 氏 （公社）徳島県建築士会

福田 頼人 氏 同

コーディネーター

岡部 斗夢 氏

NPO 法人アクア・チッタ 理事 / 事務局長

ご講演いただいた藤田恭嗣氏は、電子書籍業界をリードする経済人ですが、2022年に「徳島ガンバロウズ」を設立、また出身地である木頭村での世界一の柚子「木頭ゆず」の加工販売事業（2013年～）、世界一美しい「未来コンビニ」(2020年) やキックボクシング道場「NISHIU de repos」(2023年) の建設など様々な事業を展開しています。

藤田氏に講演を頼もうとの企画が持ちあがった時に、果たしてこんな超多忙な人が引き受けてくれるのだろうか、みんな首をひねりましたが、いろんなツテや広報委員会の当たって砕ける精神で、意外にスムーズにご講演いただける運びとなりました。

そして、イベント当日は、依頼したスケジュール通りピッタリ正午に会場に到着されました。

当日は30度を超える猛暑。しかも会場の「アクア・チッタ」は倉庫を改造したイベントホールなので、空調はなし。主催者としては、藤田氏が会場設営に何かおっしゃるかと思いましたが、白っぽいTシャツ姿の氏は全く意に介さない様子で、昼食のおにぎり弁当と一緒に食べながら歓談してくださいました。

昼食の間も矢継ぎ早に質問があり、建築業界の資材高騰について、いつ頃からかとか、どのくらい上がったかなど興味は尽きることがないようでした。また、今週飛行機に乗るのは11回目だとか。そんな多忙な身でよくぞ建築士会の講演をお引き受けいただけたものだと感激いたしました。

さて、藤田氏の御講演は、われわれの想定した筋書きを遙かに超えており、その経営哲学は異次元ともいえるものでした。「理念」「戦略」「仕組み」の三本柱を深掘していくうちに、それぞれから伸びた触手はいつの間にか他分野を侵食しはじめ、すべてが渾然一体となって融合する様は圧巻でした。

パネルディスカッションでは、本会の真鍋憲資さんと福田頼人さんが加わり、ひょうたん島や増田友也の建築遺産を通してまちづくりについて、藤田氏を交えてディスカッションを行いました。

講演会終了時の室温は37度。はじめ36人いた参加者は、終了時には18人（スタッフを除く）になっていました。この18人の熱い思いは、きっと明日の建築の世界を変えてくれるものと期待しています。

なお、科学技術高校の生徒二人がお手伝いに来てくれて、講演の感想も送ってくれました。

科学技術高等学校 滑田詩乃

今回の講演で学んだ経営学は、まだ高校生の私にとって少し難しく感じました。ですが、株式会社メディアドゥ様のオフィスや未来コンビニの建築様式については、聞いていてすごく楽しかったです。

また、ひょうたん島や万代町の活性化、緑化や、鳴門にある増田建築のお話は、徳島に住んでいる私にとって身近なものですごく興味が惹かれました。私もまちづくりに積極的に参加していきたいと感じました。



●地域会だより●

地域防災イベントへの参加

三好地域会 松江 純夫

建築士会三好地域会の様々な活動のうち、今回は2つの防災イベントへの参加をご紹介します。

○東みよし町防災フェスティバル

このイベントは東みよし町社会福祉協議会が中心となり、東日本大震災があった翌年から始まっていて、以降、震災があった3月に毎年開催されています。行政・消防団・警察はもとより、防災士会、地域の福祉関係団体等も参加し、約30のブースで情報発信を行っています。スタンプラリー形式で各ブースを回ってスタンプを集めるとプレゼントがもらえるとあって、子ども達も大勢参加してくれています。

三好地域会では毎年参加し、住宅の耐震改修の情報と防災クイズを行っています。

約300名の方がブースに来てくれるので結構忙しいですが、雑談もしながら楽しく情報発信しています。



○三好防災シンポジウム

もう一つのイベントは三好市主催の三好防災シンポジウムです。

会場は三好市池田総合体育館で、こちらもたくさんのブースが出展し、防災の発信を行うとともに、基調講演やパネルディスカッションも開催されています。

建築士会三好支部からは住宅耐震改修の相談コーナーに人員を派遣しています。

去年は私が参加させてもらったのですが、冒険家の野口健氏が基調講演者として登壇されました。野口氏は有名なアルピニストですが、災害被災者支援のボランティ

ア活動でも活躍されています。東日本、熊本、能登での支援活動の経験をもとに語ってくれたのですが、いくつか心に残った話がありました。

災害や紛争での避難キャンプの設営時には「スフィア基準」という国際基準があり、衛生面や人権面での具体的な数値目標があるのですが、今回の能登地震の時にはスフィア基準を満たさない避難所の環境が見受けられ問題となったことや、東日本大震災時に、支援物資としてタバコを持って行ったら、被災地ではタバコは品切れしていて、愛煙者からは大変喜ばれたのだが、そのことが報道された途端に、一般の方から大変なバッシングを受けたことなど、現場での体験を語ってくれました。

現場の陣頭指揮をしている首長や行政の方にシュラフ等の支援物資を提供したら、「避難されている方に使ってもらってください」と断られる事もあるらしいのですが、「先頭で頑張っている方こそ体を大切にしないと、あなたが倒れたら避難所全体がだめになる」と置いてくるらしいです。数々の被災者支援を行ってきた野口氏の言葉にはテレビの画面とは違う生々しさが感じられて感銘を受けました。

このイベントは「三好防災フェス2025」と名前を変えて、今年は9月に行われます。

今年の講演会は「ヒロシのぼっちキャンプ」で有名なヒロシさんを迎えて行われるらしいので、ぜひどうぞ。



●あなたが出番●

最後の出番

三好地域会 藤川 隆幸

26歳の春に創業してこの4月で満40年になる。工業高校建築科を卒業し徳島市内の建設会社で工事現場監督の職に就き8年間勤務し退職した。最初、建築現場の施工図面を描く仕事を創め、これまで運に恵まれてやって来られた。

1. 就職した会社が良かった！ 休みも少なく仕事もきつかったが社風が割合に自由で同僚や上司にも恵まれた。最後の2年間は現場代理人として勤務した。上司に生意気な口を利いても逆に諭し導いてもらった。退職の意志を固め建築部長の自宅を訪ね「経営陣への提言や、僕は給料以上の仕事をやっているのに安い」と今思えば生意気な不満を伝えた。すると部長は「会社も社会と同じで子供もいれば青年や大人、年老いた者もいるんだよ」と諭してくれた。その時は「はい」と言ったものの理解できなかった。今は同じ先に立つ者となりその意味がよく分かる。勤めた会社とは退職した時から今も取引を続けさせてもらっている。

2. 勤務時代の仕事仲間の助け！ 退職を迷っている時にある協力会社社長に相談をして「僕が独り立ちをして食べていけますか」と問うと「頑張れ大丈夫、応援する」と言ってくれ、その後、大金の銀行融資の連帯保証人にもなってくれた。また他の協力会社の方も仕事を紹介してくれた。

3. 部下となった社員に恵まれた！ 最初に採用した母校の後輩が、私と二人しかいない小さな事務所だったのに頑張って最後まで私を支えてくれた。今は勤続30年を超える社員も多く在籍し、そして仲間達がいつも助けてくれる。家庭では妻や亡き父や母や、応援し支えてくれた親戚や地域の方々の存在も大きかった。全てに感謝しかない。

あれから40年

創業後2年ほどして、故郷の三野町へ帰り友人に誘われ建築士会に入会した。間もない頃、三好支部で建築士会の会合が開かれ、当時の県会長に「士会に仕事へのメリットが無い」と問うと、「サロンの様なものだよ」と話してくれた。その時は「意味が分からないなあ」と思ったが、10年位続けてみるとその意味が理解できた。士会活動で人と出会い自分では考え付かない発想を得たり、新しい情報をもたらしたり、自分の考え違いに気づいたりもした。仕事へ結び付けられるか、できないかは本人の考え一つだと思う。青年部活動も楽しかった、毎年各支部持ち回りの懇親会があり同年代の仲間と自分や相手の置かれた状況など沢山の事を語り合った。全国大会の参加も見知らぬ土地へ行け楽しみの一つであった。若い建築士の皆さんは是非、士会活動を通じて人との交流を図り何かの役を引き受け、お世話を通じて友人を増やして欲しい。

あれから40年、夢や希望を抱き、目を輝かせ未来を見つめていた青年も今は残り僅かな髪も白くなり、後継者に夢を託す歳になった。5年前のまちかどに（還暦も過ぎ、そろそろ後輩や息子に道を譲り、成長を見守っていき「あなたが出番」と言われるよう、後少しこの国や社会、そしてこの建築士会と仲間の役に立ちたいと願う）と寄稿した。その様に4月には長男に代表取締役を譲り私は取締役会長となった。今後は経験で得た知識と失敗を後輩に教え伝え、その成長を見守って行く役に努めたいと思う。

最近、業界の法改正で気になる事！

1. 建築士受験条件の変更で大卒が非常に有利になり、私の様な高卒には不利になった事だ。今は以前受験できなかった23～24才での一級合格者が二割近く占める。高卒は二級が合格しても一級受験まで4年を必要とする。社会人として働いている者と、学生で勉強時間がある者と同じ土俵で戦えば勝負は見えている。一般からの者はさらに不利になる。高卒社員には資格学校への時間は勤務時間扱いにし、学費を一部援助し応援しているが状況は厳しい。

2. 法改正で大手住宅メーカーが今以上に有利になり、設計事務所への設計依頼が減るのではないかと。最近住宅を設計したが耐震等級、住宅性能評価、省エネ等級、と以前より数段コスト増となった。創業の頃は、大工さんや工務店さんから住宅設計の仕事を依頼され収入を得て腕を磨いた。家建てる時代から買う時代になり久しいが、施主の要望も高くなり小規模工務店や、これから創業する者には仕事の確保が私の時代より難しいかも知れない。

今、最大の心配事は政府が推し進める「働き方改革」

「24時間働けますか!」とまでは言わないがこの国は資源や食料生産の広大な農地も無い。自国民を守る国防や経済もアメリカに依存している、属国の民が汗水流して働くのを止めたらどうなるのだろうか。社会は勤勉を美德とした皆の祖先、父や母が作り上げて来た資本や技術その財産の上に成り立っている。一律に皆が休まないといけないのでは無く、働きたい者は働き、休みたい者は休める、そんな仕組みが必要だと考える。少子高齢化の中、この改革を推し進めると職の格差も広がり国力が衰退して行くのではないかと。ゆとり教育で学力を落とし、平等教育でわがまを助長し、過去の膨大なインフラ投資の維持管理にも追われている。財産を使い果たして目が覚める日が来ないか心配でならない。社会が今より寛容で、努力と忍耐が普通に聞こえた頃を懐かしと思うのは私だけだろうか。

これが杞憂であることを祈り「最後の出番」とします。

●令和7年度徳島支部+男女参画委員会共同企画●

瀬戸内国際芸術祭 2025 in 小豆島
バスツアー 参加者募集！

今年度の研修旅行は、今年で第6回目の開催となる瀬戸内国際芸術祭の小豆島エリアを訪ねます。芸術の秋を楽しみましょう。

日 程 10月25日（土曜日）

会 費 会員5,000円 会員外7,000円

小学生以下3,000円

※参加人数により会費の変動あり

昼食込み（オリーブ牛のローストビーフ丼の予定！）

乗車地 建設センター、徳島駅前、松茂とくとくターミナル

定 員 25名

※応募方法 右のQRコードの参加申込フォームから、お申込み下さい。

9月1日（月）0時から申込みスタート致します。先着順、定員になり次第締め切りさせていただきます。

※申込みフォームからのお申込みが不可能な方は、

①氏名、②住所、③年齢、④連絡先（携帯番号）、⑤メールアドレス、⑥所属支部名、⑦バス乗車地、を記入の上、9月1日0時以降、士会事務局までFAXでお申込み下さいませ。

事務局FAX番号 088-624-1710

（記入項目は全て必須となりますのでご注意ください。）

※なお詳しい内容は、徳島県建築士会 HPにてお知らせ致します。

●行政だよりー徳島県●

監理技術者講習について

・日 程

第2回 令和7年10月 2日(木)

第3回 令和7年12月 3日(木)

・時 間

受付 9：00～

講習 9：30～17：20(各回共通)

建築士会本部行事

令和7年8月	令和7年9月
12日(木)～15日(金) 事務局休み	10日(木) 住宅相談 (士会会議室)
12日(木) まちなみ連阿波おどり	14日(日) 二級建築士設計製図試験 (徳島県建設センター)
14日(木) まちなみ連阿波おどり	24日(木) 住宅相談 (士会会議室)
22日(金) 徳島県木造住宅技術者（新規）養成講習会 (建設センター7F)	
27日(木) 住宅相談 (士会会議室)	

※ 木造住宅耐震相談は、平日の午後1時から午後4時まで実施しています。

※ 建築相談は第2・第4水曜日の午後1時・2時・3時（相談時間は1時間以内）に実施しています（要予約）。

・会 場

徳島県建設センター5階 徳島県建築士会会議室

・受講手数料

WEB申込み 9,500円（テキスト代・消費税込み）

郵送申込み 10,000円（テキスト代・消費税込み）

※本会の講習受講で6単位（CPD情報提供制度）取得

・建築士会CPD参加によりWEBでの問題回答で本講習受講後5年間、最大18単位／年を取得

黄色い象があなたをサポート!
フレッセは建設業で働く皆さんを応援する組合です。

事業案内

- 建設保険
- 労災保険
- 建設業退職金共済
- 各種共済
- 税務相談
- 法律相談
- 各種申請手続き
- 資格取得

全徳島建設労働組合
フレッセ
http://huresse.jp/
徳島市南矢三町3丁目3-29
Tel.088-632-1351代
Fax.088-631-5473

ERI 日本ERI株式会社
法改正後の申請もワンストップで
日本 ERI にお任せください

高松支店 〒760-0017 香川県高松市番町 2-17-15-2F
TEL 087-811-1877 FAX 087-823-0056

徳島検査員事務所相談窓口
〒770-0841 徳島市八百屋町 1丁目 14-4F
TEL 088-611-5530 FAX 088-654-8320

編集後記

・大阪万博に行ってきました。すべての給水スポットを地図上に落とし、着替えも準備して暑さ対策は万全。当日は雨でした。

（雨には弱いノーリツ号）

・1970年の万博に行ってみたかった...

（ひとはたうさぎ）

・私も行ってみたいなあ。

（ぺべい）